

投資事業評価調書 (新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 京谷 幸一 (土居 康成)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	-------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 2 . 8 億円
		特定交通安全等整備 事業 (国) 2 5 0 号	姫路市広畑区 ^{あずま} 吾妻町		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
姫路市広畑区吾妻町				平成 14 年度	平成 16 年度

事業目的	事業内容
交通安全対策 交通量の多い当該道路において、事故が多発している二輪指導レーンを廃止し、あわせて自転車歩行者道の拡幅整備を行い、交通安全対策を推進する。	自転車歩行者道整備 (両側) L = 1 , 9 0 0 m W = 3 . 5 (5 . 0) m

評価視点	評価内容
(1) 必要性 快適性・ゆとり その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、歩行者、自転車交通量が多い。 (自動車 21,901 台/日、歩行者 128 人/日、自転車 275 台/日) ・過去 5 年間の歩行者・自動車の交通事故件数 (22 件) が多い。 ・2 輪指導レーンにおける事故が多発している。(過去 5 年間 42 件) ・死傷事故率 (188 人/億台 km) ・市街化区域の D I D 地区内にあり、沿道の用途地域は、準工業地域、商業地域、工業地域、第二種住居地域に指定されている。 ・周辺に山陽電鉄広畑駅 (約 300m)、大型店舗 (約沿道北側)、病院 (約 200m)、浜手緑地 (沿道南側) 等の施設があり、通勤、通学、施設利用等の多様な通行状況にある。 ・姫路南高校、飾磨工業高校の高校生が通学している。 ・福祉のまちづくり重点地区内にある。 ・歩道のバリアフリー化 (セミフラット型に変更)。 ・幅広歩道の整備。 ・地元から事業化要望あり。
(2) 有効性・効率性 有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。 ・現道幅の中での質的な改良事業。
(3) 環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の拡幅、歩道のバリアフリー化、植樹帯の整備、透水性舗装の採用により、道路交通環境の改善が図られる。
(4) 優先性	<p>当該箇所は、市街地の福祉のまちづくり重点地区内にあり、周辺には駅、大型店舗、病院等の施設があり、多様な通行状況である。自動車、歩行者、自転車交通量が多く、過去 5 年間に歩行者・自転車の交通事故が、22 件と多く発生しており、特に 2 輪指導レーンにおける事故が多発していることから、この空間を歩行者・自転車の通行空間として取り込む自転車歩行者道の整備を早急に行う必要がある。</p>

評価の結果	着手妥当	左の理由	理由
			上記内容により着手が妥当と認められた。